

**国際原子力機関 (IAEA) / 原子力国際協力センター / 若狭湾エネルギー研究センター
共催で原子力人材育成研修『メンタリングコース』を開催します**

(公財) 若狭湾エネルギー研究センターでは、県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」の一環として、国内はもとより、アジアをはじめとした世界の原子力の安全技術と人材育成に貢献するため、海外からの研修生受入れなどの人材育成事業を進めています。

今回、昨年に引き続き、国際原子力機関 (IAEA)、原子力国際協力センター (JICC)、若狭湾エネルギー研究センターが共同で、アジア、アフリカの原子力関係の行政官を対象とした研修『メンタリングコース』を開催しますので、お知らせします。

記

- 1 研修内容 国内の原子力関連施設等を視察するほか、専門家による講義を受講し、原子力発電に関する日本の技術や人材育成を含めた安全対策等に関する最新の知識を習得
※ 日本人指導者 (メンター) が同行し、事前の情報提供や説明補助などにより研修生をサポート
- 2 研修期間 平成 27 年 6 月 1 日 (月) ~ 6 月 12 日 (金) [2 週間]
※ 8 日 (月) ~ 11 日 (木) は県内に滞在し、講義の受講や県内施設の視察等を実施
11 日には福井県庁を訪問し、杉本副知事と懇談
- 3 研修場所 国内の原子力関連施設等 (県内での日程は別紙のとおり)
- 4 実施主体 国際原子力機関 (IAEA) ※1、一般財団法人原子力国際協力センター (JICC) ※2、
【共催】 公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター (WERC)
※1 世界の原子力平和利用の促進および原子力の軍事的利用への転用を防止する活動を進める国際機関 [本部: オーストリア ウィーン]
※2 原子力関係各方面と連携し、日本として原子力発電の新規導入国等に対する基盤整備協力を実施する中核組織 [本部: 東京]
- 5 研修生 アジア・アフリカの原子力関係の行政官 14 名
バングラデシュ 2 名、インドネシア 1 名、ヨルダン 1 名、マレーシア 3 名、モンゴル 1 名、フィリピン 1 名、スーダン 1 名、タイ 2 名、ベトナム 1 名、カザフスタン 1 名
- 6 取材案内 今回の研修の取材については、次のとおりとさせていただきます。

日 時	場 所
6 月 8 日 (月) 11:00~11:40	福井県若狭湾エネルギー研究センター (歓迎挨拶、エネ研の紹介)
6 月 11 日 (木) 11:00~11:20	福井県庁にて杉本副知事と懇談

〔申し込み方法等〕

8 日 (月) の取材を希望される報道機関の方は、事前に別添の取材申込書で、下記「お問合せ先」まで F A X にてご連絡願います。また、当日は開始時間の 10 分前までに当センター正面玄関にお越し下さい。

お問合せ先: (公財) 若狭湾エネルギー研究センター
福井県国際原子力人材育成センター
山本、渡邊
TEL: 0770-24-7271、FAX: 0770-24-7288

IAEA/JICC/WERC共催 原子力人材育成研修「メンタリングコース」行程表
 県内滞在分

6/8(月)	6/9(火)	6/10(水)	6/11(木)
京都 ↓ 敦賀 ↓ 若狭湾エネルギー研究センター 【11:00-11:40】 ↓ 原子力の科学館 「あつとほうむ」 講義等 ↓ 敦賀	敦賀 ↓ 若狭湾エネルギー研究センター 講義等 ↓ 福井県敦賀原子力防災センター (オフサイトセンター) ↓ 福井県原子力環境監視センター ↓ 敦賀	敦賀 ↓ 美浜原子力発電所 ↓ 原電敦賀総合研修センター ↓ 敦賀	敦賀 ↓ 養浩館(福井市) ↓ 福井県庁 杉本副知事を表敬 【11:00-11:20】 ↓ 金沢 ↓ 東京

※ 網掛けは取材対応可能な場所および時間